

もりおかPPPプラットフォームの 今後の取組について

盛岡市 財政部 資産経営課長 佐藤 明彦

1 もりおかPPPプラットフォーム設置の背景

公共施設保有最適化・長寿命化中期計画

庁舎や学校、市営住宅など367施設について、施設ごとに具体的な見直しの方向性や長寿命化に向けた工事の実施時期などを定める計画（計画期間：28年度から37年度）

事業規模 542億7600万円



長寿命化に向けた取り組み

耐用年数80年を目指し、築後おおむね20年で修繕、40年で大規模改修、60年で修繕を行うという長寿命化工事を表3のとおり実施。今後20年間に全施設で修繕または大規模改修を実施します。なお、大規模改修の際は、安全・安心、バリアフリー、利便性・快適性、省エネなどに配慮します。

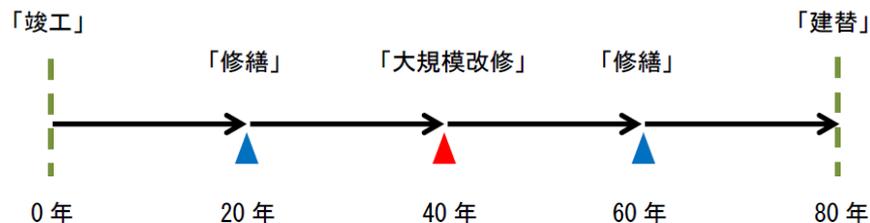


表2 中期計画に必要な維持更新費用

用途区分	維持更新費用	構成比
学校	305億9800万円	56.4%
公民館・集会施設	68億9900万円	12.7%
市営住宅	65億7600万円	12.1%
高齢者・障がい者などの福祉施設	20億6700万円	3.8%
その他	81億3600万円	15.0%
合計	542億7600万円	100%

表3 中期計画期間に長寿命化工事を行う施設数

工事の種類	施設数
修繕	61
大規模改修	136
建て替え	13
解体・減築	61
合計	271

※学校については、校舎と体育館、プールに分けて数えています

公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

中期計画を円滑に推進するため、向こう3年間に実施する事業を定める計画(H29～31年度)

工事の種類	修繕	大規模改修	建替え	解体・減築	合計(件)
実施計画	11	55	3	14	83

修繕	大規模改修					建替え	解体・減築
1.飯岡出張所	1.青山支所	14.山岸児童センター	25.法領田アパート	36.庄ヶ畑地区振興センター	47.松園小学校(校舎)	1.加賀野地区活動センター	1.肴町分庁舎
2.飯岡農業構造改善センター	2.巻堀出張所	15.川目アパート	26.青山小学校(屋内運動場)	37.中津川地区振興センター	48.松園小学校(プール)	2.玉山歴史民俗資料館	2.女性センター別館
3.飯岡地区公民館	3.青山地区活動センター	16.仁王小学校(校舎)	27.見前小学校(プール)	38.好摩地区コミュニティセンター	49.大新小学校(プール)	3.石川啄木記念館	3.みたけ保育園
4.飯岡地区保健センター	4.中央公民館	17.緑が丘小学校(屋内運動場)	28.北陵中学校(校舎)	39.上田老人福祉センター	50.月が丘小学校(校舎)		4.旧とりょう保育園
5.盛岡市立総合プール	5.仙北地区活動センター	18.大新小学校(校舎)	29.城南小学校(屋内運動場)	40.ひまわり学園	51.厨川小学校(屋内運動場)		5.中央通勤労青少年ホーム
6.渋民文化会館	6.砂子沢生活改善センター	19.厨川中学校(屋内運動場)	30.城東中学校(屋内運動場)	41.山王老人福祉センター	52.下小路中学校(校舎)		6.永井保育園
7.渋民公民館	7.芋田地区コミュニティセンター	20.城西中学校(校舎)	31.大宮中学校(屋内運動場)	42.地域福祉センター	53.仙北小学校(屋内運動場)		7.川目生活改善センター
8.盛岡南運動公園球技場	8.就業改善センター	21.サンライフ盛岡	32.中野小学校(プール)	43.生出スキー場	54.本宮小学校(校舎)		8.姫神ふるさと学習センター
9.渋民図書館	9.好摩地区公民館	22.都南勤労福祉会館	33.見前小学校(校舎)	44.上田児童センター	55.中野小学校(校舎)		9.玉山生活改善センター
10.厨川小学校(校舎)	10.農民研修センター	23.姫神地区振興センター	34.見前小学校(屋内運動場)	45.山王児童センター			10.愛宕山老人福祉センター
11.下橋中学校(校舎)	11.青山老人福祉センター	24.岩洞生活改善センター	35.大葛地区振興センター	46.緑が丘小学校(校舎)			11.都南老人福祉センター
	12.山岸老人福祉センター						12.上飯岡児童センター
	13.武道館						13.上飯岡児童センター飯岡分室
							14.うえだ保育園

公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

○ 施設用途ごとの取組(H29～31)

施設用途	(2) 支所・出張所	所管課等	市民登録課、都南総合支所、税務住民課
中期計画における具体の方向性(10年間)	合築施設の見直しに伴い、地域拠点施設への機能移転に取り組みます。 藪川出張所の、地域拠点施設として建て替える藪川出張所・藪川地区公民館の合築館への移転、 現建物の地域譲渡		
実施計画期間における取組			
対象施設	平成29年度	平成30年度	平成31年度
青山支所	◆実施設計	大規模改修工事	-
飯岡出張所	基本構想策定	◆実施設計	修繕

○ 計画事業費の推移

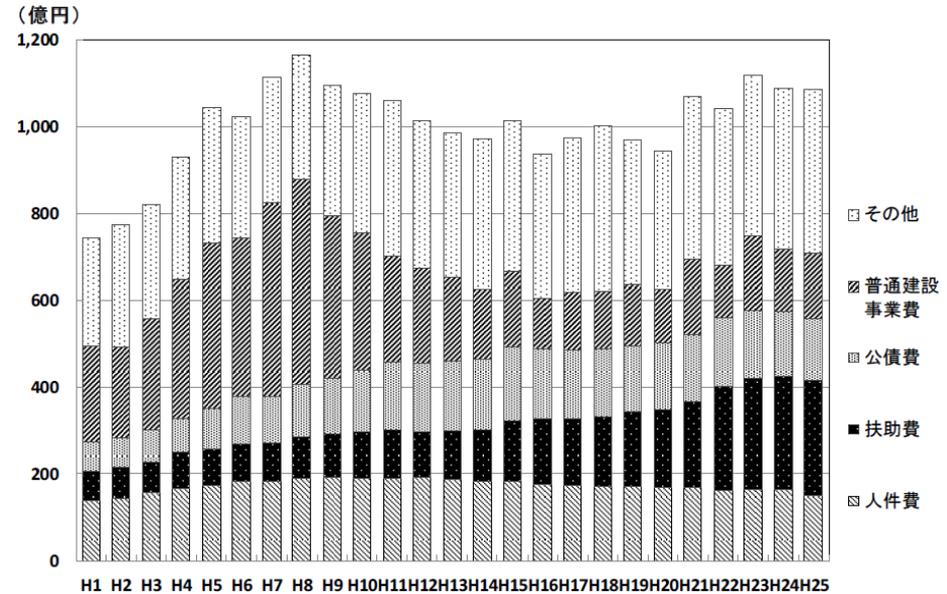
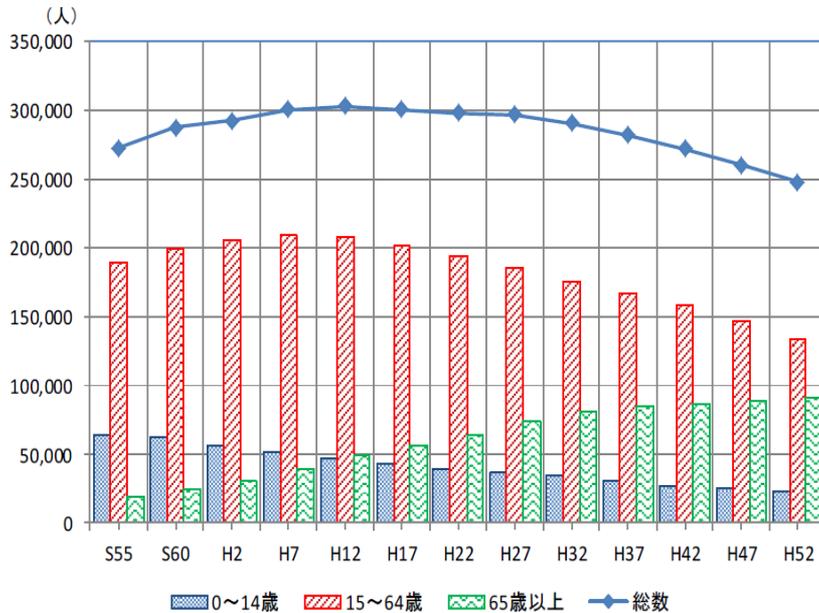
区分	H29	H30	H31	H32以降
事業費(億円)	23.7億円	43.8億円	51.6億円	H31年度と同規模を 中期計画では想定

※計画はホームページでご覧いただけます(「公共施設保有の最適化と長寿命化」で検索)

多額の更新費用を要す

少子高齢・人口減少により財政の厳しさが増大

盛岡市の人口の推移と将来推計



- ・0~14歳は、現時点でピーク時の6割に減少（H47年には4割まで減少）
- ・15~64歳は、現時点でピーク時の9割に減少（H47年には7割まで減少）
- ・一方、65歳以上は、年少人口ピーク時の3倍に増加。（H47には4倍に増加。）

人口減少により税収の減少が予想される中高齢化に伴い福祉に要する扶助費が増加。

財政の厳しさが増していく

PPP/PFI 政府が目指すもの

【課題】

厳しい財政状況

公共施設等の効率的且つ効果的な整備・維持・更新が必要

PPP/PFI
の活用

【結果】

地域経済好循環

公共施設等の整備・維持・更新

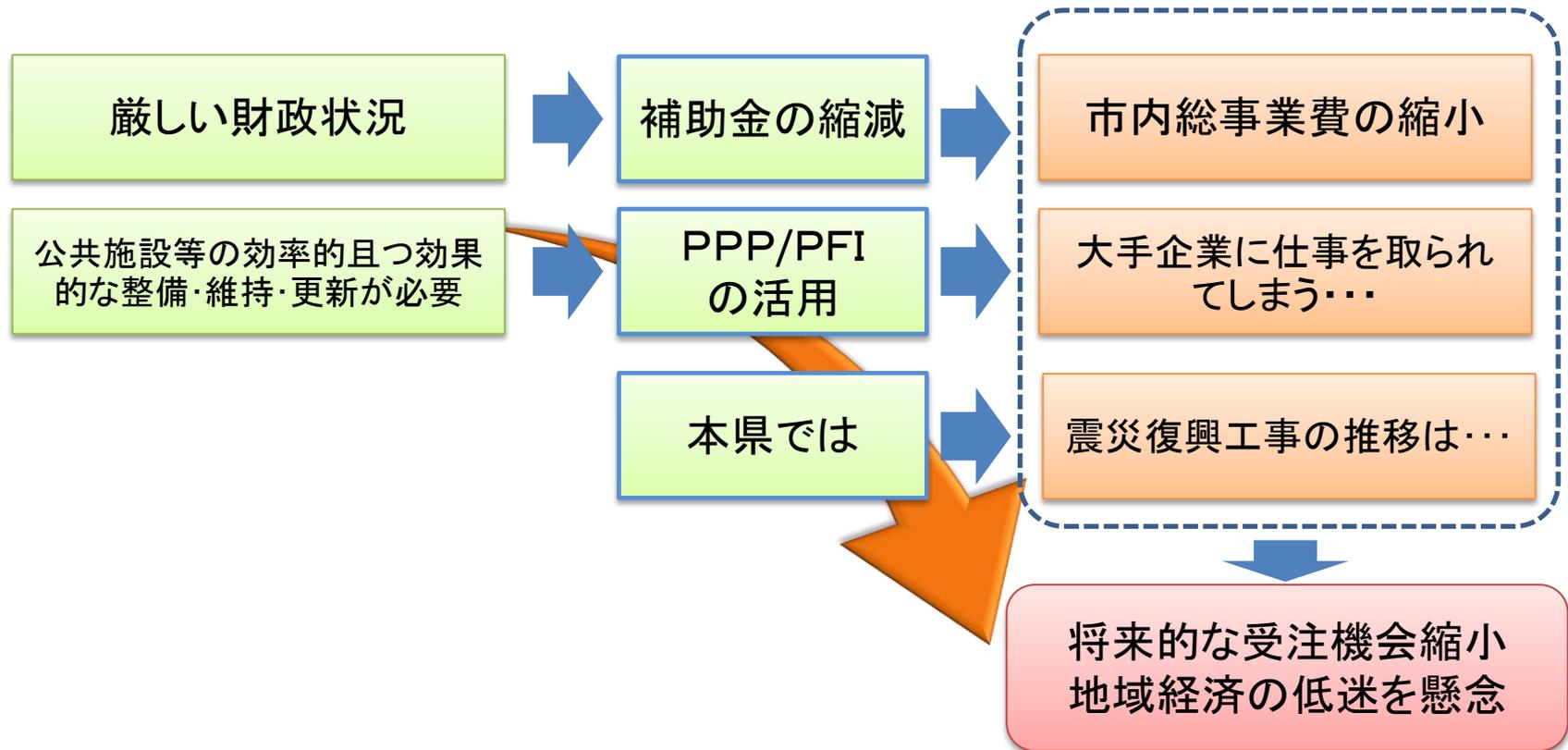
・優先的検討規程策定要請 (平成27年6月30日閣議決定)

人口20万人以上の自治体に、一定規模以上の事業はPPP/PFIを検討するよう要請

【一定規模の基準】

事業費の総額が10億円以上の公共施設整備事業(建設、製造又は改修を含むもの)
単年度の事業費が1億円以上の公共施設整備事業(運営等のみを行うもの)

しかし、何もしていないでいると・・・(盛岡市域の状況)



そこで、官民を挙げて、地場のPPP/PFIのノウハウや競争力を高め

- ・公共事業(PPP/PFI)案件を形成
- ・地場の提案力を高め、PPP/PFI事業を主体的に受注する

安定的な受注機会の創出を目指す

盛岡市域の課題（官民連携の必要性）

PPP/PFIのノウハウ不足
案件形成のアイデア不足
事業実施可能か不安
財源不足

盛岡地域の課題

PPP/PFIのノウハウ不足
提案力・競争力不足
人件費が無駄になるのでは

市

対話

事前対話・個別対話 等

民間
事業者

案件形成能力の向上
民間のアイデアを吸収
実施の可能性を事前確認
民間資金を活用し案件増

- ・官民のノウハウ不足を補完
- ・事業実施しやすい案件を形成

競争力のある提案へ
提案しやすい案件増
工期の平準化など事業
実施しやすい発注増
受注機会の増大

H28 内閣府 地域プラットフォーム形成支援

プラットフォームを形成するための内閣府支援 (全国6番目:東北初)

○盛岡市官民連携プラットフォームセミナーを4回開催

第1回 PPP/PFIの基礎的知識の習得

第2回 民間提案制度の事例紹介

第3回 地域企業の参画方法

第4回 地場企業及び大手企業による事例報告

	第1回	第2回	第3回	第4回
日程	H28.11.29	H28.12.21	H29.1.17	H29.2.17
会場	盛岡市総合福祉センター 講堂	盛岡市総合福祉センター 講堂	盛岡市総合福祉センター 講堂	(株)岩手銀行本店 9階大会議室
内容	①講演 (内閣府、盛岡市、(株)日本政策投資銀行)) ②名刺交換会	①講演 (株)日本経済研究所) ②意見交換会	①講演 (株)日本経済研究所) ②意見交換会	①講演(平田建築設計 (株)、(株)鹿島建設) ②報告(株)日本経済研究所、盛岡市)
参加者	地域企業、地域金融機関等を中心に約90名	地域企業、地域金融機関等を中心に約50名	地域企業、地域金融機関等を中心に約30名	地域企業、地域金融機関等を中心に約70名

地域企業、金融機関等を中心に延240名参加

2 もりおかPPPプラットフォームの概要 及び今後の取組

もりおかPPPプラットフォームの概要

(1) 設置目的

- ① 公共施設マネジメントを着実に推進
- ② 民間事業者のPPP/PFIに関するノウハウ習得と事業参画に向けた競争力強化
- ③ 案件形成に向けた官民の情報共有及び対話の促進

これらを継続的に展開する場

(2) 取組内容

- 他都市の事例研究などを通じた事業遂行力や提案力向上に向けたセミナー開催
- 異業種間のネットワークの形成
- 個別事業に関する情報提供と意見交換

もりおかPPPプラットフォームの概要

(3) 運営体制

設置者である盛岡市とともに、運営の核となり活動する団体・機関で構成された「コアメンバー」により企画・運営

<コアメンバー>

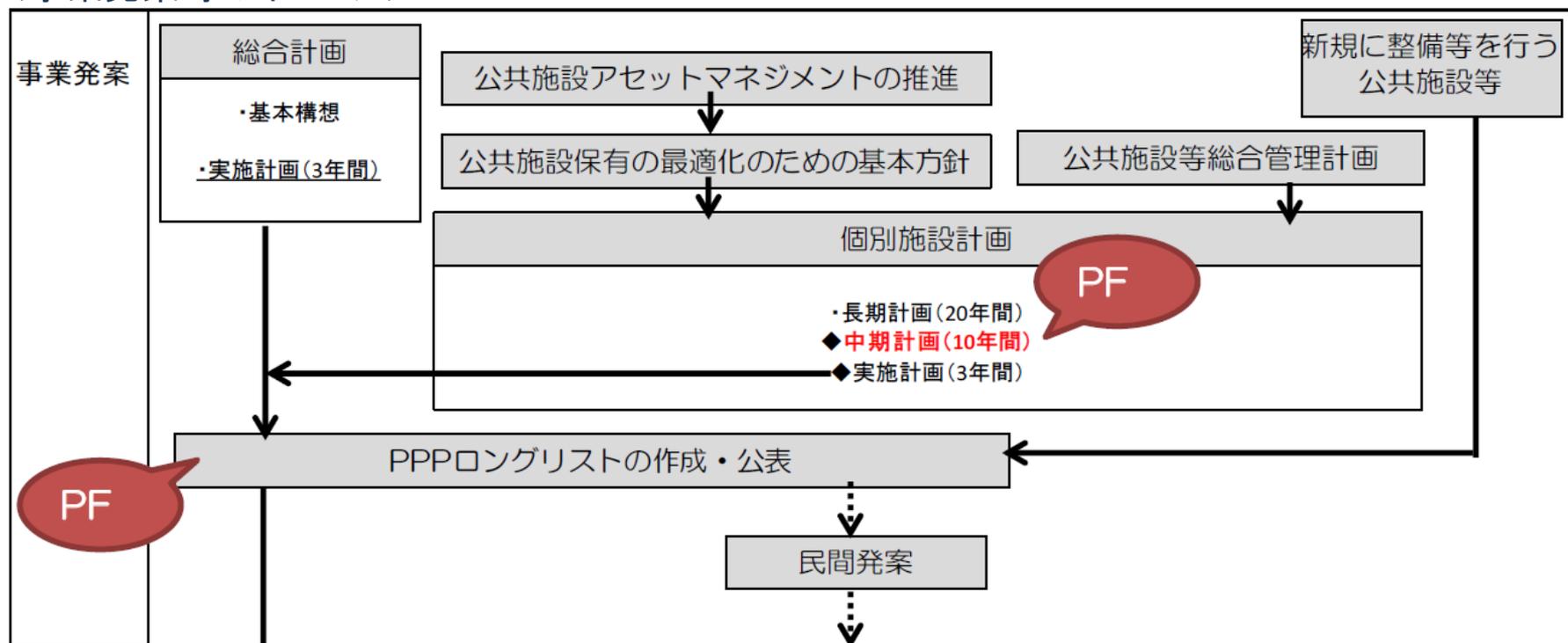
- ・株式会社 岩手銀行
- ・株式会社 東北銀行
- ・株式会社 北日本銀行
- ・盛岡信用金庫
- ・盛岡商工会議所
- ・盛岡市建設業協同組合

もりおかPPPプラットフォームの概要

(4) プラットフォームの活用場面

- ・事業発案時(案件を見つける)
- ・事業内容検討時(事業成立条件・手法等の検証)
- ・事業実施時(具体の提案へ) など

<事業発案時のイメージ>



※事業内容検討に続く

(出典) 日本経済研究所「平成28年度盛岡市域におけるPPP/PFI地域プラットフォーム形成に関する調査検討支援業務報告書」を一部加工(平成29年)

もりおかPPPプラットフォーム（対話の方法）

（5）対話の方法

①行政と民間が直接対話を行う（情報共有）

	行政と民間が直接対話を行う	
	意見交換会	ワークショップ
概要	参加者全員あるいはグループ単位で、テーマについて意見を交換する。	グループでテーマについて議論を行い、参加者が主体的に参加・体験する。グループ単位で提案や成果をまとめ上げる。
目的	理解を深める	提案力を高める
実施のタイミング	（個別）事業公募の前まで （グループ）事業検討の早い段階	事業検討の早い段階
対話の相手	個別／多数	多数
効果	産官金が、それぞれの考えていることを知ることができる。	産官金が、それぞれの考えていることを知ることができる。協力しあってまとめ上げることで、提案力が向上する。
実施事例	盛岡市、習志野市	盛岡市



28年度第1回セミナー「取組報告」の様子



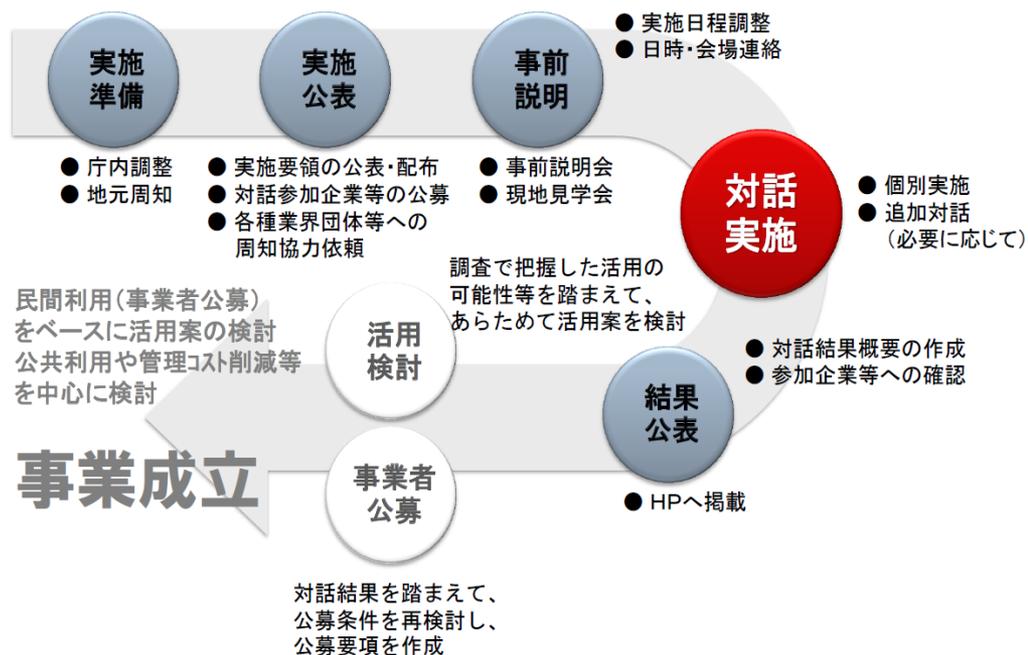
28年度第2回セミナー「意見交換会」の様子

（出典）日本経済研究所「平成28年度盛岡市域におけるPPP/PFI地域プラットフォーム形成に関する調査検討支援業務報告書」（平成29年）

もりおかPPPプラットフォーム(対話の方法)

②行政が知りたいことについて、民間が提案する

行政が知りたいことについて、民間が提案する	
サウンディング調査	
概要	市場調査手法の一つで、対話による方法。対話の相手方を公募し、公平性・透明性を確保して民間事業者への事業者への個別ヒアリングを行う。 検討の段階や事業者公募前の段階で実施。
目的	対話①: 事業検討に向けて、市場性の有無やアイデアを把握する 対話②: 事業者の参加意向を把握し、事業者がより参加しやすい公募条件を設定する
実施のタイミング	対話①: 事業検討の早い段階 対話②: 事業者公募の前(公募要項の作成に向けて)
対話の相手	個別
効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業成立の確実性が向上 ・ 正式な場で民間事業者と対話をしたという事実は、庁内意思決定の際の説得材料として有効 ・ 想定外の民間事業者の参加 ■ 民間の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共の事業方針や考えを直接聞ける ・ 民間事業者の考えを伝えることができ有意義 ・ 公募時のよりよい提案の作成につながる
実施事例	横浜市「サウンディング調査」、浜松市「科学館リニューアル事業サウンディング」他多数



(出典) 横浜市政策局共創推進室共創推進課「民間事業者との対話による公民連携の取組～サウンディング調査～」(平成27年)

当市も実施予定

(出典) 日本経済研究所「平成28年度盛岡市域におけるPPP/PFI地域プラットフォーム形成に関する調査検討支援業務報告書」(平成29年)

もりおかPPPプラットフォーム(対話の方法)

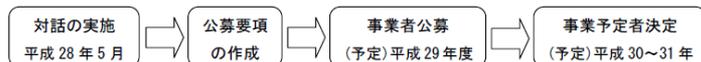
②行政が知りたいことについて、民間が提案する

「浜松科学館」リニューアルにおける事業者公募に向けて、企業等の皆さまとの対話(サウンディング型市場調査)を実施します。

浜松科学館は平成28年5月1日で開館30周年を迎えます。施設の老朽化と、展示内容の陳腐化が進んでいるため、浜松市では本科学館のリニューアルを検討しています。

つきましては、リニューアル手法や展示内容等を検討するにあたり、市場動向や民間事業者の意向を把握するため、企業等の皆さまとの対話を実施し、公募に向けた条件整理に役立てたいと考えておりますので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

【全体スケジュール】



◎対話の実施(対話は個別に実施いたします)

- ①日 時 平成28年5月23日(月)～5月31日(火)の30分～60分間程度
 - ②場 所 浜松市役所本庁舎内の会議室を予定しています
 - ③対象者 事業主体となる意向を有する、又は将来その可能性がある法人もしくは法人グループ
- * 対話内容は、次ページ以降に記載してあります。

◎対話の参加申込み及び対話資料の提出(対話への参加条件)

別紙の「(様式2)エントリーシート」及び「(様式3)対話内容シート」に可能な範囲でご記入の上、Eメールに添付し、期間内に下記の申込先へご提出ください。

<申込先> 浜松市市民部生涯学習課 Eメール:shogaig@city.
連絡先: 浜松市市民部生涯学習課生涯学習推進グループ
所在地: 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 本館3階

<申込期間> 平成28年5月9日(月)～5月16日(月)17時15分まで

◎事前説明会の開催

リニューアルの考え及び対話の実施方法について事前説明会を開催します。参加を希望される方は、期限までに上記の申込先へEメールでお申し込みください。なお、件名には【説明会参加】と記載し、メール本文に①法人名・②ご連絡先・③参加人数をご記入ください。

<日時・場所> 平成28年4月26日(火)14時00分～16時00分
浜松科学館1階 講座室(浜松市中区北寺島町256-3)

<申込期限> 平成28年4月22日(金)17時15分まで

* 質問がある場合は、「(様式1)事前質問シート」を申込期限までに提出してください。

3 対話にあたっての前提条件

(1)公募の事業対象(案)

現在、浜松市では、公募の事業対象を下記のとおり想定しています。

※対話を行うにあたり市が想定したものであり、決定事項ではありません。

【対象事業の考え方】

- ① リニューアルにあたり、既存建物・設備の改修(3-(2)参照)を予定しています。本改修は、市が直接発注することを想定しています。
- ② 現在、地元企業に一部展示のご協力をいただいております(3-(3)参照)。今後も市が地元企業に直接展示の協力を要請し、地域の産業と科学技術の理解を深める展示を更に充実させていきます。
- ③ 今後、先端科学技術を持つ国内企業の協力による展示エリアを設置したいと考えています。このエリア設置にあたっては、市が企業に直接展示の協力を要請し、国内企業の先端科学技術の理解を深める展示を充実させていきます。
- ④ 上記の企業展示以外の展示、サイエンスパーク(屋外展示)、科学学習情報システムのリニューアル及びリニューアル後の管理運営については、実施計画から管理運営までを一括公募することで、施設の魅力向上とトータルコストの低減を図ります。

・ 今回の調査対象は、上記④の事業範囲です。

・ 浜松市は、科学館の展示リニューアルをトータルにコーディネートし、効果的なゾーンニング設定及び展示配置を行うことでストーリー性ある動線を確立し、優れた施設の管理運営により科学館全体の魅力を向上できる事業者を公募したいと考えています。

(2)今後の建物・設備改修計画

展示リニューアルと時期を合わせ、下記の既存建物・設備改修の実施を想定しています。

(現在のところ、市が直接発注することを想定しています。)

建築工事	内装・外壁・防水改修、トイレ改修、プラネタリウム客席更新、出入口及び駐輪場屋根改修等
電気設備工事	ホール演出照明設備改修、プラネタリウム照明増設、監視カメラシステム改修、館内照明改修、自動火災報知器設備取替等
機械設備工事	エレベーター更新、空調自動制御機器更新、吸気式冷温水発生機修繕等

(3)展示エリアの考え方

現在の展示配置は、下記のとおりです。展示リニューアルにあたり展示コーナー(ゾーンニング)の基本的な考え方は、「浜松科学館展示リニューアル基本構想」をご参照ください。

※対話を行うにあたり市が想定したものであり、決定事項ではありません。

(出典) 浜松市ホームページ「浜松科学館リニューアルにおけるサウンディング型市場調査について」(平成28年)

もりおかPPPプラットフォーム(対話の方法)

③民間から行政に提案(行政に働きかける)

	民間から行政に提案	
	民間発案制度	民間提案制度
概要	事業化に向けたアイデアの提案(PFI法に基づかない任意の提案)	PFI法第6条の規定に基づき、PFI事業を実施しようとする民間事業者が行うPFI事業実施方針案の策定に関する提案
目的	計画の川上から、民間事業者の意見を取り入れる。	民間事業者が公共に代わってPFI事業の詳細な案を提案する。
実施のタイミング	事業検討の早い段階	実施方針公表前
対話の相手	個別	個別
効果	行政では想定できなかった発想による提案を期待できる	民間からの事業提案のため、事業成立の確実性が高い
事例	福岡市、盛岡市	福岡市、盛岡市

区分	民間発案 (PFI法に基づかない任意の発案)	民間提案 (PFI法第6条に基づく民間提案)
受付対象事業	PPPロングリスト掲載事業を基本とした 福岡市政策推進プラン掲載事業	PPPショートリスト掲載事業
受付提案内容	PPP事業化に向けたアイデアの提案 ※実施手法、事業計画、民間ノウハウ等	PFI事業の実施方針案の提案 ※ただし、既に実施方針が公表された事業に係る提案は対象外
募集開始から受付まで	PPPロングリスト公表時 (毎年度当初)より提案を受付	PPPショートリスト公表時 (毎年度当初)より提案を受付
提案受付の最終期限	PPPショートリスト掲載前 まで	PFI事業の 基本計画策定時 まで

(出典) 福岡市ホームページ「民間発案」・「民間提案」の受付スケジュール及び対象事業一覧表(平成29年)

当市も同様の民間提案制度を構築予定

(出典) 日本経済研究所「平成28年度盛岡市域におけるPPP/PFI地域プラットフォーム形成に関する調査検討支援業務報告書」(平成29年)

もりおかPPPプラットフォーム(対話の方法)

③民間から行政に提案(行政に働きかける)

「PPPロングリスト(平成28年4月版)」事業一覧表

<§1 建築物>

整理番号	サービス(事業)名称	担当部署	事業概要
1	博多区庁舎の耐震対策	市民局 区庁舎担当	既存庁舎の耐震対策について、費用対効果を踏まえた耐震改修工法や再整備による総合的な検討を進め、耐震対策を行う。
2	市営住宅の建替	住宅都市局 住宅計画課	老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、将来にわたって、安定的な供給を行う。
3	老朽化した学校の校舎等の建替	教育委員会 施設課	老朽化が進む学校施設(校舎、講堂兼体育館、プール等)の建替を行う。
4	都心周辺部駐車場	道路下水道局 駐車場施設課	都心部へのマイカー流入を抑制するための、都心周辺部での駐車場整備について、検討を行う。

PPPロングリスト 個票

<§1 建築物>

整理番号	サービス(事業)名称	特に民間に期待する要素
3	老朽化した学校の校舎等の建替	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資金 ◆ 設計・施工ノウハウ ◆ 維持管理ノウハウ
事業所管局(担当部署)		
教育委員会 施設課		
事業概要(スケジュール、模式図、位置図など)		
老朽化が進む学校施設(校舎、講堂兼体育館、プール等)の建替を行う。		
<スケジュール等>		
1) 学校施設は昭和40年代から50年代にかけて多数建設されており、老朽化が進んでいる。学校施設の目標耐用年数は60年としており、今後順次建替が必要となるもの。 なお、学校施設は児童生徒数の状況に応じて、増築や教室改造の対応が必要となる。また、余裕教室が固定化した場合、他用途への転用等が必要となる場合がある。		
2) 現時点ではPPPの可能性のある具体的な事業計画はない。今後、老朽化対応のための建替事業が急増すると見込まれるため、PPPの活用可能性について検討を進めていく。		

(出典) 福岡市ホームページ「PPPロングリスト」(平成28年)

「PPPショートリスト(平成29年4月版)」事業一覧表

事業名	担当部署	平成29年度の調査の種類	平成28年度までの進捗状況/ 平成29年度の取組予定
第2期展示場等 整備事業 [PFI-BTO]	経済観光文化局 MICE施設整備担当	事業化手続業務	平成28年度は、実施方針等の公表及び特定事業の選定を行った。 平成29年度は、4月から入札公告を行い、事業者の選定及び契約締結を行う予定である。
高宮南緑地(旧高宮貝島邸) 整備・管理運営事業	住宅都市局 みどり推進課	事業化手続業務	平成28年度は、公募要件の整理を行った。 平成29年度は、事業者の選定を行う予定である。
西部水処理センター 下水汚泥固形燃料化事業 [DBO]	道路下水道局 施設管理課	事業化手続業務	平成28年度は、施設計画等の検討を行った。 平成29年度は、公募に向けた検討・準備を行う予定である。
		○実施方針の策定の見直し 策定する時期：平成29年度中(予定) 事業概要：下水汚泥固形燃料化施設の設計・施工及び維持管理・運営施設の立地：福岡市西区小戸二丁目 事業期間：20年間(予定)	
早良地域交流センター (仮称) 整備事業 [PFI-BTO]	市民局 コミュニティ施設整備課	事業化手続業務	平成28年度は、基本計画を策定し、建築・運営計画、事業手法を定めた。 平成29年度は、公募に向けた検討・準備を行う予定である。
		○実施方針の策定の見直し 策定する時期：平成29年度中(予定) 事業概要：早良地域交流センター(仮称)の整備及び維持管理運営施設の立地：福岡市早良区四箇田団地内 事業期間：15年間(予定)	
学校給食センター 再整備事業 (第3給食センター (仮称))	教育委員会 給食運営課	最適事業方式調査	平成28年度は、事業手法等の検討を行い、整備計画の策定に向けた準備を行った。 平成29年度は、平成28年度に引き続き事業手法等の検討を行い、整備計画の策定を行う予定である。

(出典) 福岡市ホームページ「PPPショートリスト」(平成29年)

もりおかPPPプラットフォーム 概念図

持続可能なまちづくりの実現

公共施設マネジメントの推進

民間が主役の「稼げる」まちづくり

財政負担軽減を図りつつ、施設保有の最適化、長寿命化を計画的に推進

事業案件の形成

新たな事業機会の創出

クローズ（コンソーシアムの組成）

- PPP/PFIプラットフォームの役割
- ・ 公民連携事業に関するノウハウを深める場
- ・ PPP/PFIネットワークを構築する場
- ・ PPP/PFIを担う人材・仕組みを育成する場
- ・ ビジョンを共有する場
- ・ ビジョン実現に取り組む場
- ・ プロジェクト創出・推進の場
- ・ 事業パートナー選定の場

事業化へ

オープンな場
（地域プラットフォーム）

事業案件の形成に向けた検討・準備の場

普及啓発

ノウハウ
習得

サウンディ
ング

官民対話

情報共有

意見交換

ネットワー
ク

もりおかPPPプラットフォーム

設置主体：盛岡市

コアメンバー：岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、盛岡信用金庫、盛岡商工会議所、盛岡市建設業協同組合

産学官金

コアメンバーの役割

もりおかPPPプラットフォームが、参加者にとって意義あるものとなるよう、市とともに事業の企画立案及び諸調整を行う。

盛岡市公共施設等総合管理計画

建築物系施設

都市基盤系等施設

盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画（長期計画・中期計画・実施計画）

個別施設計画

- ・ H28～H37の10年間で、計271施設の長寿命化工事を実施（総事業費約542億円）
- ・ 最適化・・・個別施設の方向性を定め、施設の複合化、譲渡、解体、転用、減築等による施設保有量の総量縮減
- ・ 長寿命化・・・耐用年数80年を目指し、長寿命化工事を実施（築後概ね20年・60年で修繕、40年で大規模改修）

- ・ 道路・橋りょう、河川、公園、上水道、下水道、病院、市場等

もりおかPPPプラットフォーム（今後の予定）

（6）今後の予定

○ 平成29年度の活動方針

次の事項に重点を置き、今後の継続的な活動につながる土台づくりを行う。

① 多くの民間事業者の参画

ア 案件情報の発信

実施計画，ショートリスト，ロングリストの情報提供

イ 地元事業者による民間提案領域の検証

中期・実施計画事業において、民間提案が可能な領域を検証する。
特に、地元事業者が発案可能な小規模な案件から検証し、民間提案や事業機会創出が継続的に行われる仕組みを構築する。

② 民間提案制度の構築

ア 民間提案制度の構築

平成29年度中に民間提案制度を構築する（30年度に提案募集開始予定）。

イ 利用しやすい制度の構築

民間事業者の負担が少なく利用しやすい制度を構築する。

もりおかPPPプラットフォーム（今後の予定）

○スケジュール

開催時期(予定)	内 容(予定)
第2回 (29年10月)	【民間提案の具体的可能性検討】 <ul style="list-style-type: none">◆官民対話制度について(国の制度検討状況を報告, 提案事業者へのインセンティブ付与状況)◆事例紹介(他自治体の大規模改修案件を複数例紹介)◆意見交換(大規模改修工事における民間提案の可能性:どのような点で官民連携が可能かを議論)
第3回 (30年1月)	【民間提案制度(案)説明】 <ul style="list-style-type: none">◆民間提案制度(案)説明◆民間提案の仕方について(経験事業者等による事例紹介)◆事例演習(個別案件)
第4回 (30年3月)	【案件募集】 <ul style="list-style-type: none">◆次期実施計画(H30-32)周知(次年度工事リスト説明)◆ロングリスト・ショートリスト公表(H30)(提案対象案件説明)◆民間提案募集開始について(提案方法説明)

もりおかPPPプラットフォーム（盛岡の個別情報）

（7）盛岡市域の案件情報（実施済及び検討中の事業）

○実施済

盛岡市斎場やすらぎの丘

盛岡第2合同庁舎

盛岡中央消防署

整備手法：DBO方式

（官が資金調達，民間事業者が設計・建設・運営）

火葬棟・・・鉄筋コンクリート造2階建て 3,733.04m²



○検討中

今後は、大小様々な分野に展開

公共施設保有最適化・長寿命化中期計画・実施計画の大規模改修等

（参考資料のとおり）

（仮称）盛岡学校給食センター整備運営事業

盛岡バスセンター再整備事業

盛岡南公園野球場（仮称）整備事業

盛岡市動物公園公民連携事業

など

おわりに

今後のプラットフォームの開催情報や案件情報を、メーリングリストやホームページ等でお知らせして参ります。是非、御確認ください。

[盛岡市トップページ](#) > [市政情報](#) > [市の政策・企画](#) > 公共施設保有の最適化と長寿命化

- 公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針
- 公共施設の利用運営状況 ー 施設カルテ
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設保有最適化・長寿命化長期計画
- 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画
- 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

[盛岡市トップページ](#) > [市政情報](#) > [市の政策・企画](#) > PPP/PFI地域プラットフォーム

- 昨年度の盛岡市官民連携プラットフォームセミナー開催状況(全4回)

御清聴ありがとうございました。

問い合わせ先: 盛岡市 財政部 資産経営課

Tel 019-603-8007(直通) Email sisankeiei@city.morioka.iwate.jp